

「世界にひとつの双葉の学校」ってどんな学校？

子ども
向け

ふたばまち かいこう
双葉町が2028年(令和10年)4月に開校する、新しい学校って
どんな場所になるのかな？ ぼくと一緒に見ていこうね！

双葉町イメージキャラクター

「フタバくん」



双葉町が目指す町って？

- ◆ 双葉町では、2027年度(令和9年度)から2036年度(令和18年度)までの10年間で、双葉町がこれからどのような町をめざしていくのかを「双葉町復興まちづくり計画(第四次)」基本構想案でまとめています。
- ◆ 基本理念は、「双葉で始める～ワクワクする暮らし・学び・挑戦～」です。安心して暮らせる土台をととのえ、双葉町に関わるすべての人とともに、人の営みを原動力に、学びと挑戦が日常にあふれる双葉町をめざして復興を進めていきます。

双葉町ではどんなこども園・学校をつくっているの？



- ◆ 2028年(令和10年)4月に開校する新しい学校は、双葉町の復興のシンボルになります。
- ◆ 子どもから大人まで、年齢や性別、国籍、障がいの有無などに関わらず、地域の人たちみんなが集まり、活動できる学校になる予定です。
- ◆ 双葉町以外の地域に住んでいる人や海外の人など、世界中の人の交流の場になります。

新しい学校では、地域のみなさんが、図書室や特別教室(家庭科室、図工室)、体育館を使用できる予定です。



双葉町のこども園・学校が目指していることは？

- ◆ 「せかい」を創る「わたし」を育む
「せかい」に、①「世界」という意味の「world」、②「得意分野」という意味の「field」、③「社会」という意味の「society」、3つの意味を込めています。それらの「せかい」を創っていけるみなさん一人一人を大切に育みたい、伸ばしたいと思っています。
- ◆ 2028年(令和10年)4月に開園・開校する新しいこども園・学校は、
・みなさんにとって「好きなことや得意なこと、やってみたいこと」に夢中になれる場所
・自分の強み(自分らしさ)を知り、国内にとどまらず世界で活躍するみなさんが育つ場所
であってほしいと願っています。